National Institute of Technology(KOSEN), TSURUOKA College 学校紹介特集❷

鶴岡高専
鶴岡市井岡字沢田104 TEL0235-25-9014 FAX0235-24-1840
https://www.tsuruoka-nct.ac.jp

《創造力は無限大》

鶴岡高専

「探究実践」知るほどに実力派



Topic 1 ロボット体験会



講義後半に行われたレースの様子1

9月13日(日)、中央児童館において鶴岡高専創造工学科（情報コース）髙橋聡准教授、倉田かりん講師、教育研究技術支援センター一条洋和技術専門職員が講師となり小中学生を対象としたロボット体験会を開催しました。当日は5名の小学生・中学生が参加し、ロボットの操作方法について学んだ後、実際にロボットを動かしながら練習を行いました。


講義後半に行われたレースの様子2

体験会の最後には、習得した操作技術を活かしたレースを実施し、参加者は楽しみながらロボット操作に挑戦していました。

参加した児童からは、「楽しかった」「またやってみたいと思った」といった感想が寄せられ、ロボットやプログラミングへの興味・関心を深める機会となりました。

Topic 2 つるこうせんラボ開設


イオンモール三川に開設した「つるこうせんラボ」

子どもたちのものづくりへの興味をつなげる「つくる」「試す」「発見する」楽しさを体験！

鶴岡高専では、イオンモール三川2階に「つるこうせんラボ」を開設し、地域の子どもたちを対象とした科学実験・ものづくり体験を実施しています。

9月には、スライムやスーパーボール、割りばし鉄砲づくりなどを行い、延べ約600名の皆様にご参加いただきました。

会場には、各コースの紹介や学生の制作物なども展示しています。デジタル化が進む今だからこそ、自分の手で「つくる」「試す」「発見する」楽しさを体験し、ものづくりへの興味につなげてもらうことを目指しています。

ぜひご家族で「つるこうせんラボ」へお越しください。

Topic 3 全国高等専門学校体育大会

卓球部、シングルス・ダブルスで3位入賞を達成！

第61回全国高等専門学校体育大会に鶴岡高専卓球部が出場し、シングルスおよびダブルスで見事3位入賞を果たしました。シングルスで3位入賞を果たしたのは、機械コース4年の後藤湧太選手です。また、ダブルスでは後藤湧太選手・難波遥斗選手ペアが3位に入賞しました。

今回、入賞を果たした両選手に大会を振り返っていただきました。後藤選手は、「試合中には苦しい場面もありましたが、チームメイトや先生方、そして応援してくださった皆さんの声援が大きな支えとなりました。応援を力に変え、最後まで諦めずに一球一球へ集中してプレーした結果、シングルス・ダブルスともに3位という成績を残すことができました。」とコメントしていました。



ダブルス3位入賞の表彰を受ける後藤選手・難波選手ペア

ZOOM UP DDコースの活動について

Action of Digital Design Course

DDコースの学生は、害獣検知カメラの設置・運用と取得データの解析に取り組むとともに、地域イベントで小中学生にプログラミングを教えるための準備を進めています。本記事では、学生が実際に行っている活動を紹介します。


害獣検知カメラ

活動例 学生による害獣検知カメラの運用とデータ解析

取り組みのきっかけは、3月末に校内の空き地で、イノシシが原因と思われる掘り起こしが見つかったことです。

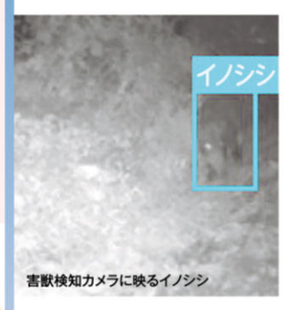
学生・教職員の安全確保と施設管理の観点から、野生動物の出現状況を把握する必要があると判断しました。

NTT東日本山形支店の協力を得て、校内にAIを用いた害獣検知カメラシステムを導入し、実証実験を開始しました。

この実証実験に担当学生2名が参加し、教員の指導の下で、カメラの設置・運用から取得画像の整理、気象データとの照合、解析まで取り組んでいます。

実際の撮影データからシステムの課題を捉え、改善方法を考える学びにつなげています。今回導入したシステムは、赤外線センサの反応をきっかけに自動撮影し、取得画像をサーバへ送信。サーバのAI解析機能でクマやイノシシなどの野生動物を識別し、管理者へリアルタイムで通知する仕組みです。

夜間や早朝など、人の目が届きにくい時間帯の監視強化も期待できます。



害獣検知カメラに映るイノシシ

Information 学校説明会

学校説明のほか、入試に関する説明も行います。中学1～2年生で興味のある方も是非ご参加ください。

ここからアクセス

11月7日(土) 13:30～15:00 米沢会場（伝国の杜置賜文化センター）
11月8日(日) 10:00～11:30 山形会場（山形テルサ）
11月14日(土) 10:00～11:30 新庄会場（新庄市生涯学習センター）
11月14日(土) 14:30～16:00 酒田会場（酒田市総合文化センター）
11月21日(土) 9:30～11:00 鶴岡会場（鶴岡工業高等専門学校）
11月21日(土) 13:00～14:30 WEB開催（オンライン説明会）

【対象】中学生及び保護者 ※お申し込み締切…各開催日の1週間前まで
【お申込み方法】以下のURLもしくはQRコードから申込システムにアクセスし、登録を行ってください。
（本申込システムはWEB出願の際も使用しますので、作成したアカウントは大切に保管してください。）
参加登録URL: https://mirai-compass.net/usr/trokosmh/event/evtIndex.jsf

Message & Yell

社会で活躍する先輩からのメッセージ&エール

鶴岡高専で学んだ専門知識と技術と経験が職場で生きています



出光興産株式会社
千葉事業所　潤滑油一課
伊藤　大貴
創造工学科 電気・電子コース
2025年度卒
（庄内町立余目中学校出身）

■現在の主な業務について
潤滑油一課の業務は、潤滑油の基油であるベースオイルの製造です。私はフィールドマンとして、現場設備の点検、保守業務、運転条件変更に伴う現場操作等を行っています。

■現在の仕事を選んだ理由
石油業界は社会インフラを支える重要な産業であり、安定した需要があることに魅力を感じました。また、インターンシップを通じて、世代を問わず社員同士が気軽にコミュニケーションをとる風通しの良い社風に惹かれたからです。

■鶴岡高専を志望したきっかけ
SDGsに関心を持っており、環境問題の解決や持続可能な社会づくりに貢献できるエンジニアになりたいと考えていました。そのため、実践的な専門知識と技術を学べる鶴岡高専への入学を志望しました。

■鶴岡高専に入って良かったこと
若いうちから専門分野や実践的な技術・知識が学べ、座学だけでなく、実験や実習などが豊富なことです。

■高専時代に熱中したこと・思い出
アルバイトでは、忙しい中でもスタッフ同士で協力しながら楽しく働くことができ、充実した日々を過ごせました。

また、文化祭の出し物で購入したゲテモノを罰ゲームとして盛り上がりながら皆で処理したことや、他の研究室に混ざって交流したこともいい思い出です。

■将来の夢・目標
将来の夢はまだ探している段階です。人生の目標としては、できるだけ長生きして、親孝行の機会を増やすことです。

■鶴岡高専を志望する中学生へ
高専では専門的なことを学べるだけでなく、文化祭や球技大会、友人との何気ない時間など、たくさんの楽しい思い出をつくることができます。私にとって高専での5年間は、とても充実した楽しい時間でした。皆さんもぜひ、自分なりの思い出をたくさんつくってください。

世界の国から鶴岡高専へ 留学生紹介

Welcome to Tsuruoka!

日本とタイをつなぐ架け橋となって、技術や教育の発展に貢献していきたい。


創造工学科 情報コース3年
バウテイスター・スパカーン
（タイ王国出身）
from Thailand

■留学したきっかけ
私は小さい頃から海外で学びたいという夢がありました。日本の高専教育は、実践的な技術やものづくりを重視していることに魅力を感じ、鶴岡高専への留学を決めました。

また、日本の文化や生活を体験しながら、自身を成長させたいという思いも大きな理由です。

■現在、主に学んでいること
現在は情報工学を中心に学んでいます。プログラミングやデータサイエンス、数学などの専門科目だけでなく、日本語やコミュニケーション能力も日々勉強しています。授業では実験やグループワークも多く、仲間と協力しながら学ぶことの大切さを実感しています。

■鶴岡の印象について
鶴岡は自然が豊かで、とても落ち着いた町だと感じています。先生方や学生の皆さんはとても親切で、困ったときにはいつも温かくサポートしてくださいます。また、お花見や天神祭など、日本ならではの季節の行事を実際に体験できたことも、とても印象に残っています。留学を通し、日本の文化や地域の魅力を身近に感じることができました。

■留学中の生活で感じたこと
最初は言葉や生活習慣の違いに戸惑うこともありましたが、少しずつ慣れてきました。寮生活では自分で時間や生活を管理する力が身につき、多くの国や地域の友人と交流することで、新しい考え方や価値観を学ぶことができました。毎日が新しい発見の連続で、自分自身が成長していると感じています。

■将来の目標について
将来は、情報工学の知識と国際的な経験を生かし、人々の生活をより便利にする技術を開発できるエンジニアになりたいと考えています。また、日本とタイをつなぐ架け橋となり、両国の技術や教育の発展に貢献できる人材になることが目標です。

★次回、第3弾は11月21日(土)に掲載を予定しています。

広告

理魂工才
自学自習

独立行政法人 国立高等専門学校機構
鶴岡工業高等専門学校

私たちは鶴岡高専を応援しています。

わたしたちは
鶴岡高専の学生を
強力にバックアップします!
伝統と誇りを胸に
鶴岡高専同窓会
峰友会
会長 飯島政雄

センサー技術をあらゆる危機管理に。
巧妙化する偽造紙幣を、上回る高精度で見破る
■紙幣鑑別機・計数機
マイナカード等が本物か確認する装置。効率化も実現
■年齢識別・本人確認装置
日常の万一に備え、暮らしやすくサポート
■防犯機器・介護健康機器
MATSUMURA
株式会社　松村エンジニアリング
〒111-0052 東京都台東区柳橋二丁目18-4
TEL：03-6858-6611 FAX：03-6858-6711
URL：https://www.matsumura-eng.com/

MECHANIC
-sustainable engineering-
NEXT → 40th ANNIVERSARY
〒999-6701
山形県酒田市砂越字中台70
詳しくはこちら

SUZUKI KOUMUTEN Co.,Ltd.
株式会社 鈴木工務店
自然にやさしく環境を大切にしています
代表取締役 鈴木　譲
鶴岡市布目字宮田163番地4
☎0235-28-2758　info@kksuzuki.jp

地方から、鉄で
日本を支える
イタガキ
安心をつくる。人を輝かせる。
東田川郡三川町神花字前外川原476-1　tel.0235-66-4711
https://www.itagaki-tk.co.jp

世界中の
『頼んで良かった』を
量産する
Green Metal
-Cutting the Impossible-
〒997-0011 山形県鶴岡市宝田3丁目11番25号TEL:0235-24-7410　FAX:0235-24-7653

緑・水・エルデック
～地球にやさしい環境づくり～
社会貢献に努め、ゼロカーボン活動に取組んでいます
ERDEC
株式会社エルデック
代表取締役 佐藤　清
本社／〒998-0073　酒田市松美町3-70
TEL0234(34)3355・FAX0234(33)2073
https://erdec.co.jp
営業内容
○リサイクル事業　○環境機器設計　○環境分析業務
○産業廃棄物収集運搬・中間処理　○一般廃棄物収集・運搬
○農業用各種肥料製造・販売
○浄化槽・下水道施設等のメンテナンス　○計量証明事業所

その技術が、
世界を
動かす。
TPR工業 株式会社
寒河江から、世界へ。
エンジンを支える、シリンダライナ

高速道路の点検・保全を通じて、
東北の発展と安全・安心を支えます
株式会社ネクスコ・エンジニアリング東北
〒980-0013 仙台市青葉区花京院2-1-65
いちご花京院ビル13F
TEL:022-713-7370 FAX:022-263-1422
E-mail:enjitohoku.saiyou@e-nexco.co.jp
会社HP　採用HP
NEXCO 東日本グループ

飛躍と発展
Imagination & Communication
鶴岡印刷株式会社
〒997-0854 山形県鶴岡市大淀川字洞合1-1
TEL.0235-22-3080　FAX.0235-24-8698
E-mail:desk@turuin.co.jp

人と技術をつないで
未来を切り拓く
考える技術、熱い人間力、出会いから生まれる提案力。
ソリューションビジネスは、人を想い、社会を創る仕事です。
株式会社日情システムソリューションズ
本　社／酒田市京田二丁目69番3　TEL.0234-41-2122
東京支社／東京都千代田区丸の内1丁目4番1号 丸の内永楽ビルディング26階
山形支店／新潟支店／情報システム本部／酒田システムセンター／村山システムセンター